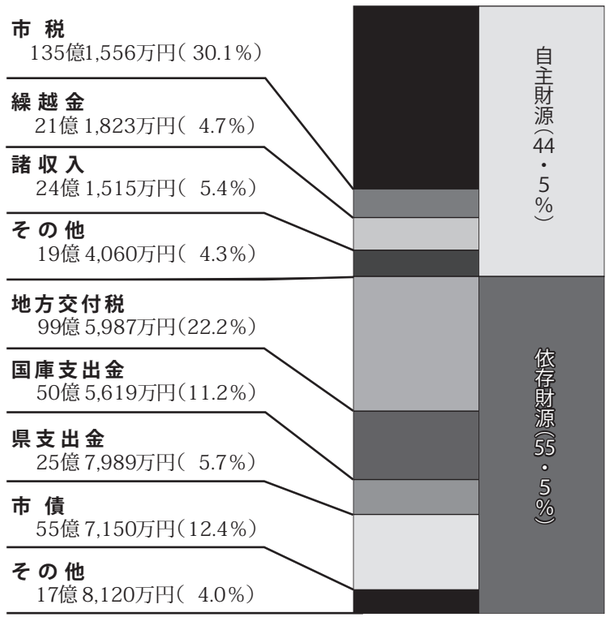
平成26年度の決算を報告します

9月に開催された市議会で、平成26年度の一般会計と特別会計（10会計）、水道事業会計、合わせて12会計の決算が承認されました。今回は、その内容についてお知らせします。

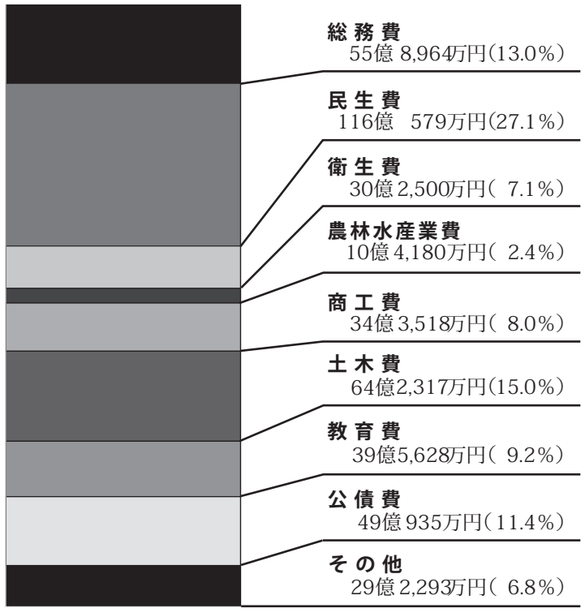
一般会計決算額

差引額　20億2,905万円

歳入　449億3,819万円



歳出　429億914万円



【一般会計】

平成26年度の一般会計の決算額は歳入が449億3、819万円（対前年度比3・0%減）、歳出が429億914万円（対前年度比3・0%減）でした。差引額の20億2、905万円は平成27年度へ繰り越しとなります。

歳入のうち、市税など市の自主的な収入である自主財源は199億8、954万円（44・5%）、国や県から交付される地方交付税や国庫・県支出金、市の借金である市債などの依存財源は249億4、865万円（55・5%）でした。

歳出は、民生費が116億579万円（27・1%）、土木費が64億2、317万円（15・0%）、総務費が55億8、964万円（13・0%）、公債費が49億935万円（11・4%）などの順となりました。

【特別会計】

平成26年度の特別会計（10会計）の決算額は、歳入が219億514万円で対前年度比1・7%の増となり、歳出が213億8、715万円で対前年度比2・5%の増となりました。差引額の5億1、799万円は平成27年度へ繰り越しとなります。

【水道事業会計】

平成26年度の収益的収支における収入は24億3、009万円（消費税込み）、支出は21億5、198万円（消費税込み）で、差し引き2億7、811万円（消費税を抜いた純利益は1億8、083万円）となりました。

資本的収支における収入は4億8、361万円で、支出は19億801万円（消費税込み）でした。差し引き14億2、440万円の不足は、過年度分損益勘定留保資金（※1）などで補填（ほてん）しました。

くわしくは
一般会計と特別会計について
財政課　☎（21）5162
水道事業会計について
水道課　☎（21）4532

※1　損益勘定留保資金…減価償却費など現金支出を伴わない費用

特別会計決算額

事業	歳入	歳出	差引額
国民健康保険事業	106億5,092万円	103億6,726万円	2億8,366万円
後期高齢者医療事業	10億466万円	9億9,767万円	699万円
介護保険事業	65億2,419万円	63億6,880万円	1億5,539万円
診療所事業	1億2,409万円	1億1,624万円	785万円
自家用有償バス事業	5,310万円	5,181万円	129万円
公設地方卸売市場事業	2,181万円	1,723万円	458万円
温泉事業	9,136万円	8,990万円	146万円
銅山観光事業	1億1,674万円	9,369万円	2,305万円
下水道事業	33億1,827万円	32億8,455万円	3,372万円
公共用地先行取得事業	0円	0円	0円
合計	**219億514万円**	**213億8,715万円**	**5億1,799万円**

水道事業会計決算額

	収入		支出		差引額
収益的収支（※2）	水道料金	20億3,872万円	借入金の利息返済	2億558万円	
	その他	3億9,137万円	減価償却費	10億7,857万円	
			その他	8億6,783万円	
	合計	**24億3,009万円**	**合計**	**21億5,198万円**	**2億7,811万円**
資本的収支（※3）	国などからの補助金	6,407万円	施設などの整備費用	12億9,208万円	
	国などからの借入金	3億8,460万円	借入金の元金返済	6億1,593万円	
	その他	3,494万円			
	合計	**4億8,361万円**	**合計**	**19億801万円**	**▲14億2,440万円（※4）**

※2　収益的収支…事業運営を目的とした収入・支出のこと　※3　資本的収支…施設整備を目的とした収入・支出のこと
※4　▲はマイナス、全て消費税込みの金額（▲14億2,440万円は、過年度分損益勘定留保資金などで補填）

1人当たりに使われたお金の内訳

使われたお金を市民1人当たりに分けてみると、494,516円でした。その内訳は下のとおりです。
※3月31日現在の住民基本台帳人口86,770人で計算しています。

総務費	64,419円	企画や財政、人事、税金などの事務に関する経費
民生費	133,753円	幼児や高齢者、体の弱い方などを援助するための経費
衛生費	34,862円	市民の皆さんの健康を守ったり、ごみを処理したりするための経費
農林水産業費	12,007円	農道やほ場を整備したり、林道や森林を維持管理したりするための経費
商工費	39,590円	商工業の支援や育成、観光施設の整備やイベントなどを行うための経費
土木費	74,025円	道路や市街地、市営住宅などの整備や管理をするための経費
教育費	45,595円	学校運営や社会教育、文化・スポーツを充実させるための経費
公債費	56,579円	借り入れをした市債の元金や利子の返済金
その他	33,686円	議会費、労働費、消防費など